



■鳥瞰イメージ

※計画中のデザインのため、今後変更の可能性があります。

■内部仕上計画

- 木の温かみを感じながら、児童生徒が安心安全に使うことのできる素材とします。
- 手の届く部分は汚れに強い仕上を使い、メンテナンス性に配慮した計画とします。
- 普通教室や廊下など、生徒が一般的に利用する空間は木を多用し、床には複合フローリングを用い、壁にはシナベニヤを使用します。
- 特別教室については、用途に合わせて耐薬品性などの長尺シートを用います。
- 職員室や校長室などは、机のレイアウト変更を行いやすいようにOAフロアとします。
- ビニルクロスは、近年の情勢を踏まえ、抗ウイルス性能の高い製品を選定します。
- 屋内運動場の床フロアは、運動性を考慮し、鋼製床+複合フローリングとします。

■木材利用計画

- 月形スギ保護林（植物群落保護林）の木材を利用して、モニュメントやサイン、壁仕上材へ活用します。使用部位は今後検討します。

室名	床	壁	天井
普通教室	複合フローリング	シナベニヤ クリア塗装	岩綿吸音板
特別教室	機能性長尺ビニルシート	シナベニヤ クリア塗装	岩綿吸音板
職員室等	OAフロア+タイルカーペット	石膏ボード+ビニルクロス	岩綿吸音板
廊下・WS	複合フローリング	シナベニヤ クリア塗装	岩綿吸音板
トイレ	長尺ビニルシート（抗菌）	フレキシブルボード	化粧石膏ボード
アリーナ	複合フローリング	有孔シナベニヤ	GWボード
玄関	磁器質タイル	シナベニヤ クリア塗装	化粧石膏ボード

※現段階の想定であり、今後変更の可能性があります。



■メディアセンター



■吹き抜け

■地域開放ゾーニング

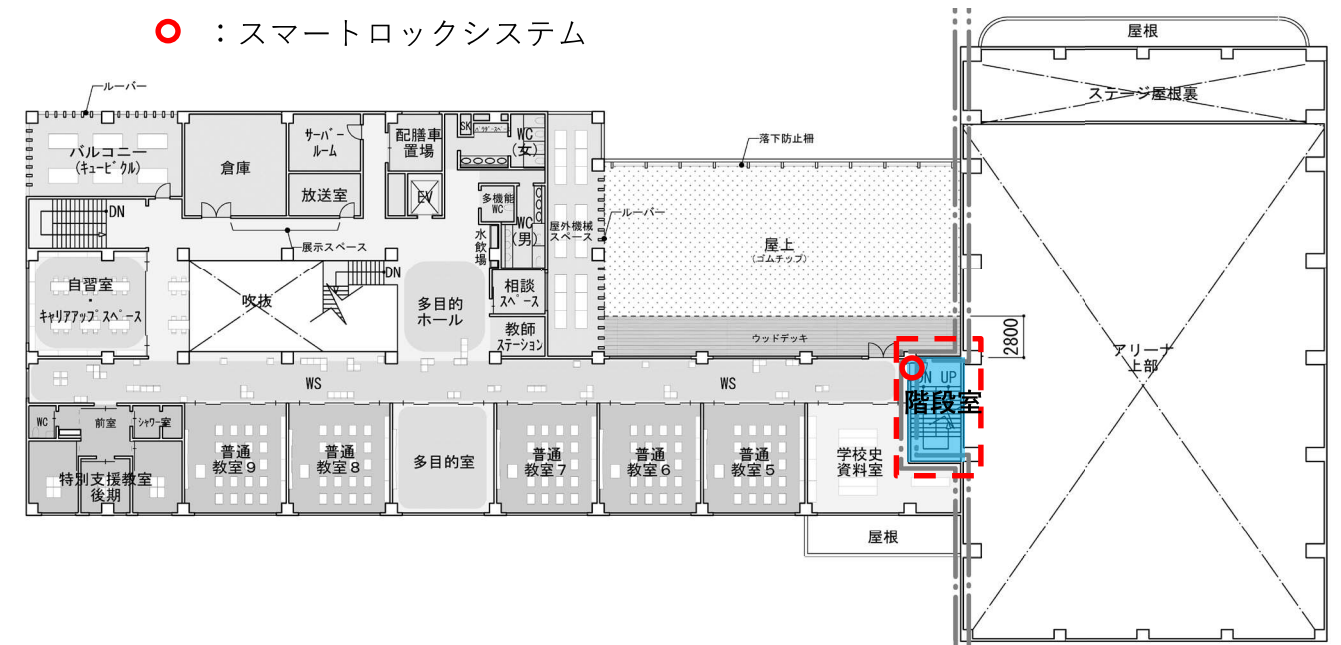
迅速に機能転換できるフェーズフリーな校舎

- 地域開放出入口はアリーナ側に配置し、一般児童・生徒用出入口と別の位置に配置します。
- 地域交流ホール、メディアセンターは常時開放とし、スマートロックシステムを用いてセキュリティを確保しつつ、児童・生徒と一般利用者の交錯がないような動線計画とします。
- 災害時には、地域開放エリアを避難利用エリアとして活用します。地域開放エリアのセキュリティシステムを活用することで、スムーズな機能転換と学校機能の再開が可能です。
- 平常時に地域に開かれた学校とすることで、非常時に慣れた場所で過ごすことができます。

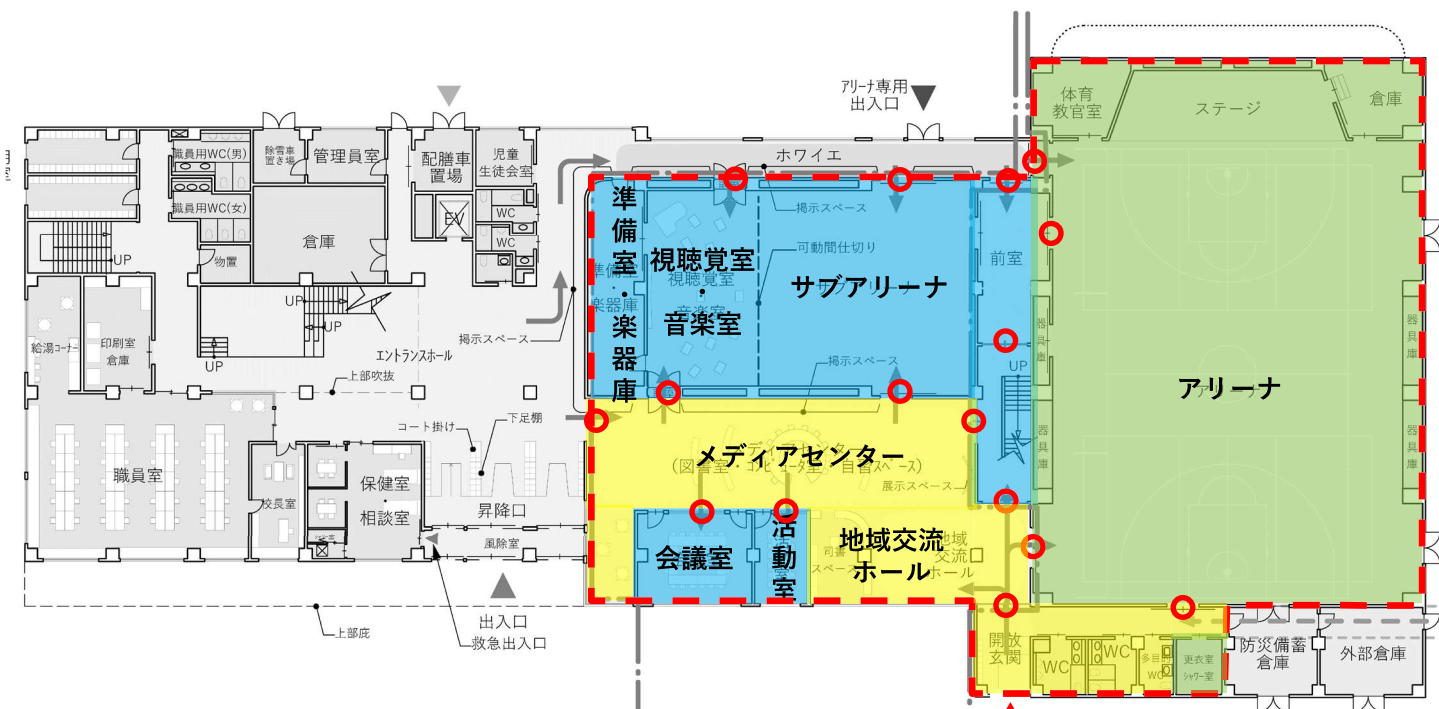
予約の有無	開放する時間帯	凡例	開放する部屋
予約なし	常時開放		地域交流ホール、メディアセンター
予約制	放課後・休日に開放		アリーナ、ランニングデッキ
	授業のない時間・放課後・休日に開放		サブアリーナ、音楽室・視聴覚室、会議室、活動室、デザインスタジオ、キッチンスタジオ

--- : 地域開放エリア

○ : スマートロックシステム

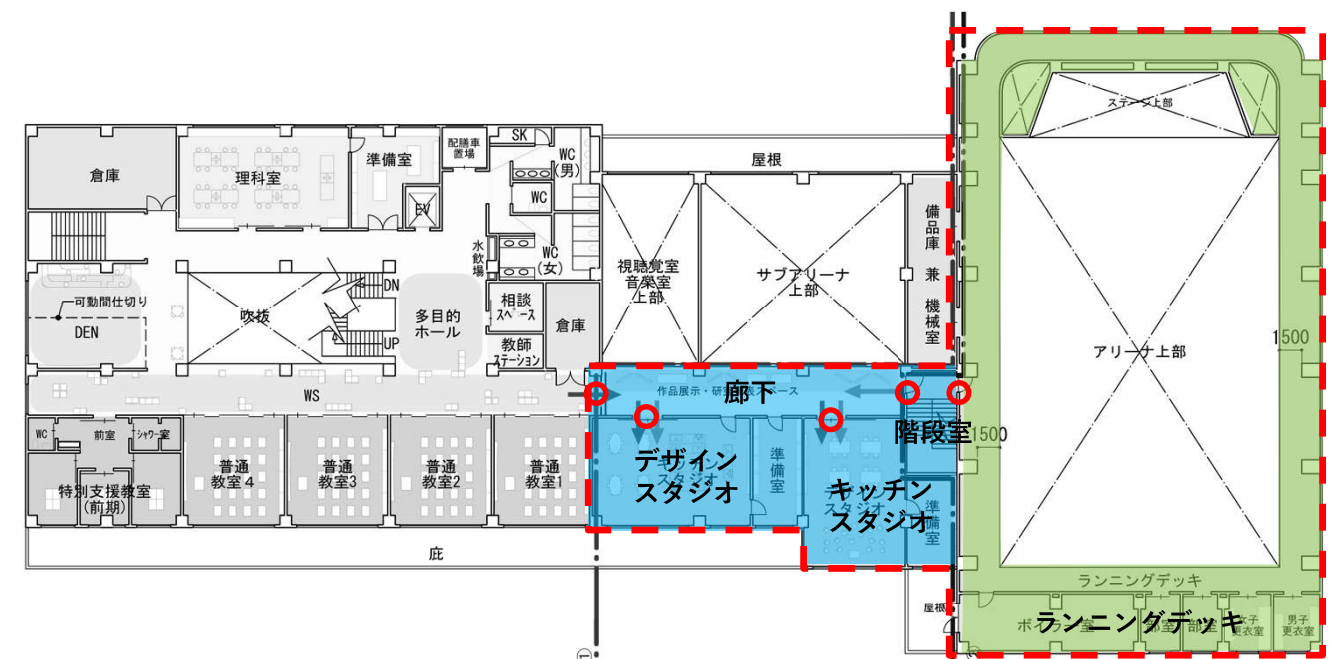


■3階平面図



■1階平面図

地域開放
出入口



■2階平面図

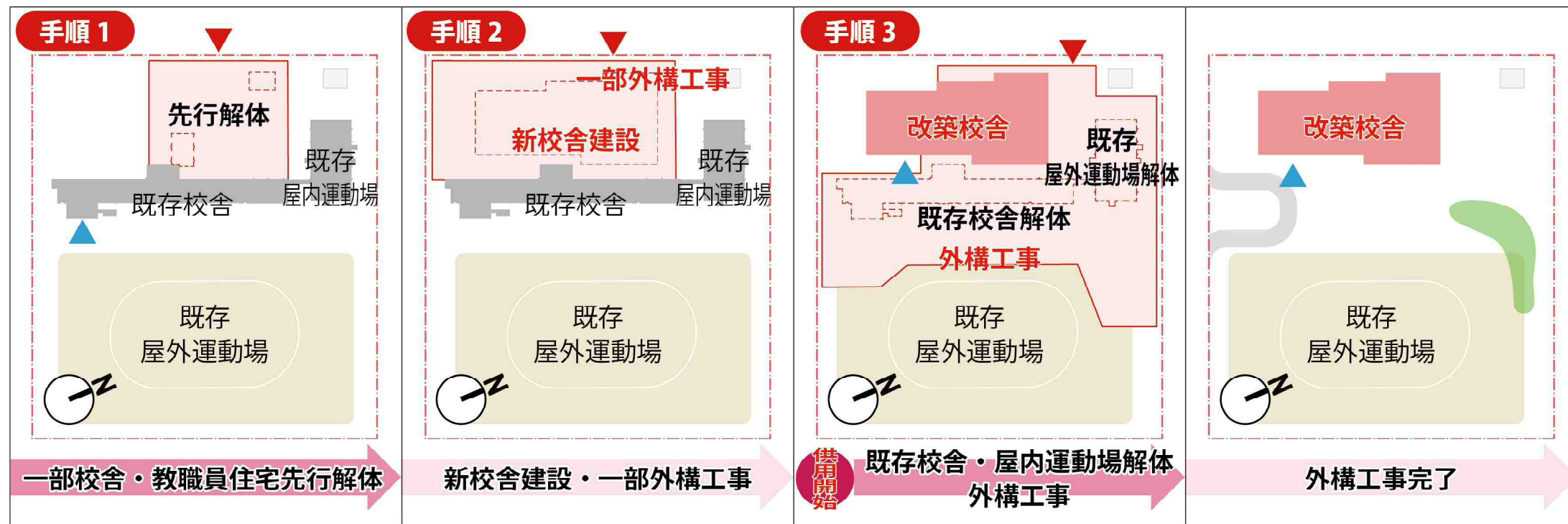
■建替え計画

- 施工中は児童・生徒動線と工事車両動線が交錯しないように動線を確保します。
- 一部校舎および教職員住宅を先行解体し、工事スペースを確保します。

その後、既存校舎北側に校舎屋内運動場を一括で施工します。

新校舎および屋内運動場が竣工後、既存校舎屋内運動場を解体し、外構工事を行います。

凡例 ▶ 児童生徒出入口 ▶ 工事・車両出入口



■建替えスケジュール

令和7年度 (2025年度)												令和8年度 (2026年度)												令和9年度 (2027年度)											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
令和7年6月～8月																																			
一部校舎・教職員住宅 先行解体																																			
令和7年9月着工																																			
手順1												校舎屋内運動場一括工事												開校											
												令和9年2月竣工																							
												手順2												手順3											
																								令和9年6月～12月											
																								旧校舎解体工事											
																								外構工事											

※今後の社会情勢等（建設業者の週休2日制の導入など）により竣工の時期が延びることもあります。

■概算工事費

概算工事費を下記に示します。

実施設計において地質調査を行います。調査結果により工事費が増減する可能性があります。

物価及び人件費高騰などにより、今後工事費上昇の可能性があります。

概算工事費（経費・税込）

・ 建築工事	
・ 電気設備工事	
・ 機械設備工事	合計 約35.0億円
・ 解体工事	約1.9億円
・ 外構工事	約2.2億円